

## 具体例1 「協働性が生まれる研究テーマの作成」

《ねらい》

研究テーマの設定にあたって、全職員がその作成に関わることで、研究への参画意識を持たせる。

テーマ『本校の今年度の食育の研究テーマを決めよう』

《時 間》

1時間30分程度

《研修技法》

カードBS→概念化シート→KJ法

【事 前】

①事前に「文部科学省の食に関する指導方針」や「アンケート結果」「付箋紙」を推進員に配布しておく。

②推進員は資料に目を通し、会議までに「本校のこれまでの食に関する指導」の「成果」と「課題」を思いつくままに、付箋紙に記入する。

付箋紙の書き方は、一枚の付箋紙に一つのことを箇条書きで書くように指示する。

例)

牛乳の嫌いな児童が多い。	毎日、朝ご飯を食べている児童が多くなってきた。	どんな授業をやっているのか分からない。
--------------	-------------------------	---------------------

\*児童だけの「成果」と「課題」にこだわらず、教師や学校全体のことでいい。

③付箋紙に一人10枚くらい書いてもらう。(思いついたことは何でもいいから書いてもらう。)

【当 日】

①4～6人のグループになり、持ち寄った付箋紙を一人ずつ概念化シートのあてはまる場所に貼っていく。その際に、コメントがあればコメントをいいながら貼る。(貼る際に、他の人は決して批判したりしないことを約束する。)

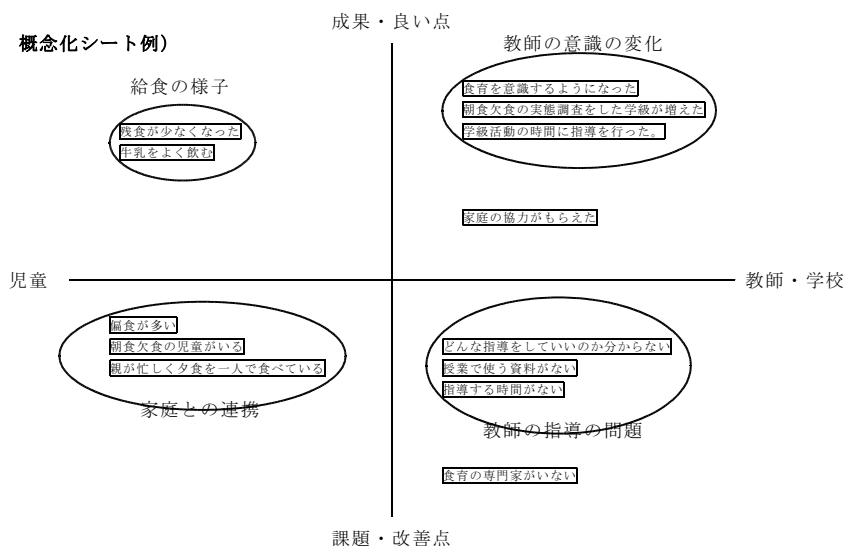
②貼りながら、同じ内容や似たような内容は近くにまとめる。

③いくつかのまとまりができたなら、それらをマジック等を使って囲んでグルーピング化する。

④グルーピング化したものに「タイトル」をつける。(タイトルがキーワードとなる)

⑤タイトルをつけたら、みんなで「本校の食育の実態」についての感想を言う。

(下図参照)



⑥実態を見て、今年度の「食育」の目標を出し合う。(このときも付箋紙などを使って、まずは一人一人に自由に思いつくことを書かせ、下のシートにまとめる。

	今すぐみんなで取り組める	少し取り組むのに時間がかかる	みんなで取り組むのが難しい
今すぐ児童に身に付けさせたいこと			
今年度中に児童に身に付けさせたいこと			
来年度以降児童に身に付けさせたいこと			

※あてはまる場所に付箋紙を貼っていく。

⑦グループで話し合ったことを、それぞれ発表する。各グループの発表から、今年度の研究の方向性を確認する。